

iCrip

アイクリップマガジン

magazine

2015.03
vol.32

Doctor's Life Design
Magazine



特集
意外と大事な、
病院の見るところ。

各病院が力を入れている科を 集中的にまわれます



井山 廉大 医師

最近楽しかったこと
奥さんの地元の病院での
出産に立ち会えたこと。
無事女の子が
産まれました。

▶ 東京都出身
▶ 長崎大学卒業
▶ 2年目研修医

藤田医師 僕は学生時代に大学院の単位を全部取って、研修しつつ大学院生としていち早く博士課程が修了できるというアカデミックコースを取っているのですが、4年生から5年生の時に先生からこのコースを勧められたのが始まりです。

井山医師 僕は、地元ということが一番です。尾曲先生・井山先生は県外出身ですが、どうですか。

尾曲医師 地元も含め県外の研修も考えていましたが、私は学生の時、病院実習で指導医に恵まれているなど感じ、長崎で研修しようと思いました。指導がしっかりと場所ならば、医師としての基礎作りがしやすいと思ったからです。

藤田医師 僕は、地元ということが一番です。尾曲先生・井山先生は県外出身ですが、どうですか。

尾曲医師 地元も含め県外の研修も考えていましたが、私は学生の時、病院実習で指導医に恵まれているなど感じ、長崎で研修しようと思いました。指導がしっかりと場所ならば、医師としての基礎作りがしやすいと思ったからです。

井山医師 僕は、学生時代に大学院の単位を全部取って、研修しつつ大学院生としていち早く博士課程が修了できるというアカデミックコースを取っているのですが、4年生から5年生の時に先生からこのコースを勧められたのが始まりです。

井山医師 長崎大学病院で8ヶ月以上研修すれば、その他に何院でも研修できるのが大きな特徴です。それぞれの病院の強い科を選択したり、興味のある科を色んな病院でまわったり、自由にローテート

藤田医師 僕の場合は、新・鳴滝塾の事務局長をされている濱田先生のアドバイスがきっかけでした。

井山医師 一つ目は、トライアン

トライアングルコースと 人脈と知識を広げることで

【研修スケジュール】

現在の研修先：長崎みなとメディカルセンター 市民病院（内科）

1年目

泌尿器科2ヶ月→ICU 1ヶ月→神経内科2ヶ月→循環器科3ヶ月→

麻酔科2ヶ月→整形外科2ヶ月

2年目

救急科2ヶ月→外傷センター1ヶ月→ICU 1ヶ月→

地域医療（長崎県上五島病院 内科）1ヶ月→

循環器科2ヶ月→救急科1ヶ月→皮膚科1ヶ月→消化器科2ヶ月

長崎大学病院

済生会長崎病院

長崎みなとメディカルセンター 市民病院

長崎県上五島病院

が組むことができます。

藤田医師 コースで研修する先生方へ、メンター制度や学習支援金によるサポートがあると聞きました。

尾曲医師 相談相手になつてくださるメンターの先生から電話をいだき、月一回くらいのペースで会つてお話をさせていただきました。

井山医師 おかげで研修後の進路が決まりたので、すごくありがたかったです。

藤田医師 引っ越し代としても役立つ支援金もいたたけるのも、コースを選んだ理由の一つです（笑）。

ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI

長崎発 トライアングルコース で可能性を広げよう!!

長崎県では、2013年から新研修プログラムの「トライアングルコース」がスタート。今回はそのコースで研修している2年目初期研修医の3人に、研修で学んだことなどを伺いました。自分の可能性を大きく広げるトライアングルコースの正体が、今明らかになります。



トライアングルコースとは？

新・鳴滝塾と長崎大学病院が連携して、県内17の研修病院から長崎大学病院を含む3院以上を選択して研修できるプログラム。救急に特化したり、各病院のいいとこどりをしたりなど、自由にローテートを組めるのが特長。メンター制度や学習支援金もあり、長崎での初期研修を強力にバックアップする。

クローズアップエリア
Close up Area
長崎県

慣れあいにならず、常に程よい緊張感を保てます



[研修スケジュール]

現在の研修先：長崎医療センター（救命救急センター）

1年目

- 麻酔科1ヶ月→第一外科（呼吸器外科）2ヶ月→麻酔科1ヶ月→救急（外傷）1ヶ月→循環器内科1ヶ月→■ 地域医療（平戸市民病院）1ヶ月
- 循環器内科1ヶ月→消化器科2ヶ月→第二外科（消化器外科）2ヶ月

2年目

- 救急（ICU）2ヶ月→■ 内科（糖尿病・代謝・脳神経）2ヶ月→小児科2ヶ月→■ 外科3ヶ月→救急3ヶ月

■ 長崎大学病院 ■ 長崎みなとメディカルセンター 市民病院
■ 平戸市民病院 ■ 長崎県医療センター

クローズアップエリア 長崎

新・鳴滝塾
ナカ
サキ ALL NAGASAKI

対馬の研修では学校健診も体験できました

グルコースでまわる病院がアラミックコースで研修する病院をカバーしたこと。もう一つは、各病院のいいところをしたからです。他のコースでは、常勤医師や指導医が少ない科もまれ場合もありますが、トライアングルコースでは各病院が力を入れて



いる科を集中的にまわることもあります。

尾曲医師 私は小児科を志望していましたこと、病院実習で行った対馬でできるだけ長く研修したかったので、濱田先生に相談したところ、「小児科であれば、色々な地域の現場を見た方がいい」と勧められました。実際に、大学病院とは違う地域の現場も見られてとても良かったです。

井山医師 当直とかでは、まわづらい科の先生と一緒になり、そがりますよね。

藤田医師 そうですね。色々な病院で研修することで、それだけ多くの先生方と出会えます。先生方それぞれの考え方ややり方に触れる点でも、トライアングルコースはいろいろどりの研修ですね。

井山医師 当直とかでは、まわづらい科の先生と一緒になり、そがりますよね。

の先生に相談することもよくあります。それがきっかけで新しい人脈が広がることもありますね。

尾曲医師 先ほども言ったように専門科を決める上で、どのようにローテートしましたか。

尾曲医師 先ほども言ったように私は小児科志望だったので、対馬いづら病院と諫早総合病院でも小児科を研修し、入局先は長崎大学病院の小児科に決めました。

井山医師 僕は循環器と整形で迷いましたが、ベースとして救急がしたいので、AM-Iについては市内の全症例を診ている長崎みなとメディカルセンター市民病院で研修しました。最終的に長崎大学病院の循環器科に入局しました。

藤田医師 研修当初から外科を考えていたので、外科やその関連する科をまわり、長崎医療センターでも外科と救急を研修しました。3年目から長崎大学病院の第一外科に進みます。

[研修スケジュール]

現在の研修先：長崎大学病院（耳鼻咽喉科）

1年目

- 小児科2ヶ月→第一外科（小児）1ヶ月→救急（脳卒中）1ヶ月→第一内科（内分泌・代謝）2ヶ月→救急（救命センター）3ヶ月→精神科神経科1ヶ月→第二内科（腎臓内科）2ヶ月

2年目

- 内科3ヶ月→■ 小児科2ヶ月→麻酔科1ヶ月→外科1ヶ月→内科2ヶ月→■ 耳鼻咽喉科1ヶ月→■ 地域医療（済生会長崎病院）1ヶ月→■ 放射線科1ヶ月
- 長崎大学病院 ■ 諫早総合病院
■ 長崎県対馬いづら病院 ■ 済生会長崎病院

[研修スケジュール]

現在の研修先：長崎大学病院（耳鼻咽喉科）

1年目

- 小児科2ヶ月→第一外科（小児）1ヶ月→救急（脳卒中）1ヶ月→第一内科（内分泌・代謝）2ヶ月→救急（救命センター）3ヶ月→精神科神経科1ヶ月→第二内科（腎臓内科）2ヶ月

2年目

- 内科3ヶ月→■ 小児科2ヶ月→麻酔科1ヶ月→外科1ヶ月→内科2ヶ月→■ 耳鼻咽喉科1ヶ月→■ 地域医療（済生会長崎病院）1ヶ月→■ 放射線科1ヶ月
- 長崎大学病院 ■ 諫早総合病院
■ 長崎県対馬いづら病院 ■ 済生会長崎病院





取材担当者の

長崎取材後記

長崎取材の詳細は iCrip「マッチング情報局」で公開中!!

マッチング情報局 

今回の長崎めぐりは、初の佐世保へ。4つの初期研修病院をまわり、佐世保バーガーを食べるという、佐世保タイムを満喫! 病院は、どこも患者さんへの対応がとても親切ですし、佐世保バーガーは素材の味を活かしたビッグサイズで、オーダーが入ってからの手作り。やっぱり長崎は、「人の温かさ」で溢れています。iCrip の「マッチング情報局」では、衝撃エピソードも大公開!

新・鳴滝塾

病院見学時の
旅費サポートあり

長崎県で初期・後期研修、Iターン、Uターンをお考えの皆さん
の為の公的機関によるサポートシステムが「新・鳴滝塾」です。
ぜひ長崎であなたの夢をかなえて下さい。

長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、市民病院、長崎原爆病院、
済生会長崎病院、上戸町病院、長崎医療センター、市立大村市民病院、
諫早総合病院、長崎県立原爆病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、
佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院。

長崎県上五島病院、長崎北洲会病院、長崎県対馬いづら病院



イベント

3月7日(土) オール長崎 初期研修 合同説明会
3月22日(日) レジナビフェア 2015 in 東京

携帯電話からの病院見学の
エントリーはこちから



長崎県医師臨床研修協議会【新・鳴滝塾】

<http://www.narutaki-jyuku.jp> info@narutaki-jyuku.jp

クローズアップエリア 長崎

ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI

指導医に聞きました

研修医教育を通じて、地元の長崎に貢献したい

大学卒業後は沖縄県立の病院で研修した後、22年間沖縄で外科医として救急疾患や外傷を診てきました。2年前、当院でER型の救急科を立ち上げるというお話をいただいたとき、以前から地元の長崎に貢献したいと思っていたので、このチャンスを活かしたいと決心して帰ってきました。

現在は、救急を専門に研修医を指導していますが、指導にあたり大事なことは、「研修医を一人前に育てる気概」をもつこと。救急について言えば、1年目は初診の患者さんに診断を下すことができるようになる。そして2年目は、1年目に教えることで、自分が知らないことを再認識して自分を高めることにつながる。このような教育システムを作りたいと思っています。

人ととの強いつながり、大学病院との連携、北米の考え方を活かした病院へ

長崎に戻って改めて感じたことですが、医師同士はもちろん、人ととの結びつきがとても強い。実際に当院でも、長崎大学病院からローテートてくる研修医の先生たちが、私たちと一緒にになって、より良い研修病院を目指して取り組んでいます。長崎県内の研修病院は長崎大学病院との連携が強いので、そこに「北米の合理的な診療や教育の方法」を組み合わせる、つまり伝統ある長崎大学のアカデミックな部分と北米式臨床教育システムとを合体させることが理想と考えています。

自分のやりたいことに向かって、とにかく一生懸命やってほしい

研修医になる皆さんには、「自分のやりたいこと」に向かって、とにかく一生懸命やってほしいです。「将来を考えると、やった方がいいこと」にチャレンジするのもいいでしょう。そして、どの専門科に進むにしても、診断能力は非常に大切です。のために3ヶ月の救急科研修が必修になっています。その「必修」の意味を考えながら、「日本の医師として不可欠なものは何か?」「どこで働きたいか?」ということについても、自分の考えをしっかり持ってほしいと思います。

私は外れ者で(笑)、同期のみんなが母校の大学病院で研修する中で外病院に行きました。研修が終わったら帰るつもりでしたが、その予定が変わったときに、「こうなったら自分で腕を磨くしかない!」と考え、海外の医師免許を取得して研修しました。今振り返ると、やって良かったですね。

研修医の先生がいてくれることで、毎日楽しく働ける

最後に、長崎のいいところを挙げると、まずは人柄の良さ。礼儀正しく、謙虚な方が多いですね。そして自然や景色も美しい。その美しさを写真に残しておきたくなってカメラを買ったほどで、休みの日に撮りに出かけることもあります。そんな素晴らしい土地と研修病院がある長崎で、多くの方と一緒に働けたら嬉しいです。研修医の先生がいてくれることで、毎日私は楽しく働くことができています。

長崎みなとメディカルセンター 市民病院
救急科主任診療部長
だけした
嵩下 英次郎 医師

▶長崎県出身
▶産業医科大学卒業
▶医師24年目

